Child Family Consultant

ベーシックコース 第4回前半

NPO法人
子育て学協会

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

CFCベーシックのゴール

「育ち合いの専門家として必要な、基本的知識や心得を修得している状態」
「保護者と子どもの成長に対して、一段深く効果的な関わりができる状態」

人間のこころの成長過程を、『子どもと大人の相互性』という視点でみることができる状態

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

CFCを学ぶルール

1. 必ず事前資料には目を通し、課題を行った上で参加する

2. 主体的に行動し、積極的に関わる態度を忘れない

3. 参加者がお互いに学ぶ姿勢を持っていることを尊ぶ

4. 時間を守る

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

講座の中の共有・議論への取り組み方

＜話す＞
・限られた時間の中で、自分が話す配分を心がける
・話したくないことは無理に話さないで良い

＜聞く＞
・話をさえぎって途中で口を挟まず、最後まで聞く
・相手が気持ちよく話せるような聞き方を心がける
・違う意見や違う視点、他の人の意見を一つの意見として肯定的に受け止める

無断複製禁止　子育て学協会

イントロダクション

本日のスライドは事前共有しております。
必要に応じて、ご自身でダウンロードや
印刷をお願いいたします。
当日テキストに自身で「ポイントと思うこと」
「気づき」などを積極的にメモを取ってください。

無断複製禁止　子育て学協会

本日のアジェンダ

イントロダクション

1. 子どもとの対話①
2. 子どもとの対話②
3. 子育てのためのファミリービルディング③

まとめ・アンケート

4. 子育てのためのファミリービルディング④

まとめ・アンケート

認定試験

第4回後半

休憩を50分～1時間に1回予定しています。

休憩に入るタイミングで次の開始時間をお伝えします。

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

履修ゴール

子どもとの対話のポイントを理解し
意識できるようになる

ユーモア・アプローチを知り、必要性を理解する

ネガティブシチュエーションの時の
子どもの心理を知り、対応を考えることができる

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-1. 子どもとの対話で意識したいポイント

事前課題①
子どもとの対話で大切にしていることを
箇条書きで構いませんのでお書きください。
子どもとの対話で難しいと感じたシチュエーションを
思い出し、なるべく具体的にお書きください。

- 上記についての各自回答を共有してください。
- グループ：5分

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-1. 子どもとの対話で意識したいポイント

- 子育てに活かすポイント

愛着が人格形成に影響することを理解しコミュニケーションをとる

・顔　▶　笑顔
・目　▶　視線を合わせる
・耳　▶　最後まで聞く
・鼻　▶　いつもと違う動きに敏感になる
・口　▶　ゆっくり話す
・手　▶　体を触る
・腹　▶　受け止める
・足　▶　マネ（同じ行動）をする

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-2. 子どもとの対話が及ぼす影響

＋		－
笑顔	顔	怒った顔
視線を合わせる	目	視線を合わせない
最後まで聞く	耳	聞かない・途中で遮る
違いに敏感	鼻	気づかず鈍感
ゆっくり話す	口	早口
体に触れる	手	体に触れない
受けとめる	腹	押し付ける
興味関心示し、マネ	足	興味関心なし、違う行動

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-2. 子どもとの対話が及ぼす影響

＋		－
心が安らぐ	顔	不安を与える
人と向き合える	目	不信感を与える
心を開く	耳	心を閉ざす
気づき頼ることができる	鼻	一人で悩みを抱える
相手を思いやる	口	自分のペース
落ち着く	手	落ち着かない
相手を許すことができる	腹	孤独
親しみを持つ	足	親しみを持たない

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-3. ユーモアの効用

事前課題②
「ユーモアがその場を和やかにさせた」場面を思い出し、そのエピソードと場が和やかになった要因について記述してください。

- 上記についての各自回答を共有してください。
- グループ：3分

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-3. ユーモアの効用

ユーモアとは・・・和みのあるおかしみ

- 「ユーモア」の効果

緊張をほぐす　場を和ませる　親近感がわく
ストレスの軽減

叱った後
・・・・・「怒るとお腹がすくね！おやつを食べよう！」
バスで飲み物をこぼした時
・・・・・「アートだ！」
大人のけんかやいざこざ
・・・・・「ママ何分で帰ってくるか考えようか」

心にゆとりがなければユーモアは生み出せない
ユーモアを伝えることで心にゆとりができる

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-4. ユーモアアプローチ

<ユーモアアプローチ>・・・広告業界
<ユーモア教育>・・・・・・教育業界
▶ 効果を得るため有効

ポジティブに考えるクセ
物事を多角的に考えるクセ
人間関係を良好にするスキルの習得

子どもはユーモアの塊！
子どもから学ぶ＝子どもの自信

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-4. ユーモアアプローチ

- ユーモアセンスの磨き方

① 観察→ユーモアにできるポイントをチェックする
② 常識をずらす、「あればいい」「具体化」「変」「ありえない」ことをMIXして視点を変える

- ユーモアの種類

・視覚的なもの……被り物・変顔
・体感……くすぐり
・言葉……わざと間違える・知らないふり
・意図的なもの……おやじギャグ
・禁止用語……うんち・おっぱい
・とんち（機転をきかせる）……一休さん
・マネする……動き・手真似
・天然

他人と一緒に笑う、他人を笑わない

（休憩１０分）

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-5. ネガティブシチュエーション

ワーク：

次の３つの状況でどのように対応しますか？

対応方法を考えてみてください。

Ａ：雨上がりに道路を歩いていて、横を車が通った時
　　水たまりの泥水がはねて服を汚した

Ｂ：食事中、お茶をこぼしてしまった

Ｃ：どうしても手を離せないことがある時に
　　構って欲しがる

- 個人：5分

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-5. ネガティブシチュエーション

- 転んでけがをする
- 砂場で遊んで服を汚す
- 電車の中で大きな声を出す
- 友達をぶつ
- 手を滑らせてお茶碗を割る
- 高い所に上る狭い所に入り込む
- おもちゃを投げる
- 着替える時何でも「やって」

不可抗力 → **無意識** → **意識的**

A：雨上がりに道路を歩いていて、横を車が通った時、水たまりの泥水がはねて服を汚した

B：食事中、お茶をこぼしてしまった

C：どうしても手が離せない時に限って構って欲しがる

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

A：快・不快の自己認識の確認
▶共感(または大人の気持ちを伝える)
▶解決策について話す

B：1歳半
事実を意識づけ「なくなっちゃったね」
▶処理・片付けを手伝ってもらう
▶肯定的な伝え方で次回からの意識ポイントを伝える（こう持ったらだめよ×こう持つとこぼれないね○）

B：5歳
子ども自身で処理・片付けをするよう促す
▶結果と原因を問いかける
▶次回からの意識ポイントを問いかける（または共に考える）

C：子どもの気持ちに共感
▶大人の気持ち、今の状況をわかりやすく伝える
▶いつならできるかを伝える
▶待てたことについて承認（嬉しかったよ、助かったよ）
～小さい年齢でも理由をその都度伝える～

Ａ：雨上がりに道路を歩いていて、横を車が通った時、水たまりの泥水がはねて服を汚した

Ｂ：食事中、お茶をこぼしてしまった

Ｃ：どうしても手が離せない時に限って構って欲しがる

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-5. ネガティブシチュエーション

- 対応のポイント

不可抗力 → **無意識** → **意識的**

不可抗力	無意識	意識的
子どもの認識を確認 その認識に合わせ共感 次からの対応を考える機会にする	発達段階に合わせて捉え方を教える 次からの対応ができるように学ぶ機会にする	子どもの気持ちに共感 わかりやすく理由を説明 できたことを認め、次へつなげる

無断複製禁止　子育て学協会

1. 子どもとの対話①

1-6. ネガティブなときこそ心がけたいこと

環境の整備

① スキンシップしながら伝える

② 静かに伝えることができる環境で話せているか

受容
今を認める

③ 当人の気持ちを受容・共感しているか

④ 問いかけ
(答えを大人が教えるのではなく、問いかける・または一緒に考える)

尊重

⑤ 子どもの背景を考慮しているか

⑥ 認めるべき部分を認めているか（言ってくれてありがとう）

意欲・学習

⑦ 体験する機会を活かしているか

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

履修ゴール

子どもの力を引き出す対話を理解し
意識できるようになる

動機づけの意味と方法について理解する

意識づけの意味と方法について理解する

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-1. 動機づけ

- 動機づけとは

“したい！しないではいられない！”気持ちにしてあげること

その言葉によって、子どもの頭の中に映像が浮かび、
イメージが膨らんでいく状態にすること
＝その積み重ねで言語からの想像力が育まれる

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-1. 動機づけ

1．どうすれば「自発的」になれるのか分からない
　▶「些細なことに気づき行動すること」が大切
2．「気づこう」と思っても気づけない
　▶興味が持てていない
　気づくためには興味を持ち注目することが必要

指示命令ばかり　×
自発的に行動しても褒められない　×
自発的に行動するメリットなし　×

動きたくなるスキルや情報を提供し環境を整える

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-1. 動機づけ

● 留意ポイント

1.答えが一つの質問	●答えやすい質問に答えることで主体性や参加意識が高くなる ●正解が言えたことで自信がつく
2.答えが複数あって考える質問	●自分の思っていることや感じていることを話しても大丈夫という安心感 ●イメージを自分なりに広げられる
3.五感を刺激する質問	●言葉だけではわからないニュアンスを体全体で味わうことでイメージが広がる ●より鮮明に記憶に残る

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-2. 意識づけ

- 意識づけとは

認めてあげたい、忘れずに大切にしてほしいことを
言葉で丁寧に伝えてあげること

無意識で無自覚的なことが「意識」「自覚的なこと」となり
自分らしさにつながっていく
＝アイデンティティとして育っていく

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-2. 意識づけ

● 留意ポイント

1.プロセスを具体的に

●何が、どこが良いのかをきちんと認識し再現性があるものに

2.感謝、気持ちを伝える

●褒められること、認められることは喜びますますしたくなる

3.スタンスは特に大切に（取り組む姿勢や、周囲への配慮など、心持ちの部分）

●結果よりも、プロセスを認めることで、配慮、創意工夫が好きになる
●あり方そのものを認めてもらうことで自尊心が高まる

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-2. 意識づけ

ワーク：
２人一組になり、子ども役、実況中継役に分かれます

子ども役　　：絵を描いたり好きなことをしてください
実況中継役：子どものしていることを実況中継してください

１人２分で交代します

していることを言葉で伝える。
子どものしていることそのものに興味を持ち、言葉にして伝えましょう。

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-2. 意識づけ

ワーク：
パートナーがお料理を作ってくれました。
何と言いますか？

どこが、どのように、何で・・・など
具体的に伝えないと人には伝わらない。
そして、そのことをどう感じたか、どんな影響を受けたかを
伝えることで心に残る言葉になります。

例)
A：お料理上手ね！
B：このハンバーグジューシーでおいしくて幸せな気分になったわ！

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-2. 意識づけ

ワーク：
思い浮かべてください。
あなたが尊敬する人はどなたでしょうか？
そして具体的にどこを尊敬しているのか？
を考えてみてください。

意識づけでは、「できる」「できない」の「スキル」だけではなく、「スタンス」や「その人らしさ」、「存在そのもの」を認め、そこを意識させてあげることが重要。
受けた子どもは、「自分はここにいてもいいんだな」「自分は価値ある人間なんだな」と感じ、安心感や信頼感を得ることができます。

無断複製禁止　子育て学協会

2. 子どもとの対話②

2-3. 子どもの力を引き出す対話

NG

ネガティブな言葉を使う
決めつけ

OK

ポジティブな言葉を使う
事実を大切に心を込める

言葉で言われたことは「意識」され、そのような「人」になる

無断複製禁止　子育て学協会

（休憩５分）

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

履修ゴール

子どもの心の安定のためにCFCができることを知る

父・母のパイプを良くする方法を知る

その他のパイプを良くする方法を知る

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-1. カウンセリングのステップ

子どもの7つのパイプ
親の７つのパイプを見る

「心の安定」を読み取る
安定していないところで学習することは困難
親子がチャレンジできる土台を作る

子どもの徳性を見る

外見観察・・・身体的、対人、遊び方、しつけ
内面観察・・・思考、精神的発達状態

親の教育観を知る

●コミュニケーションの取り方（自分の思いを話す＝自己確認。したいことが言えない＝漠然とした不安）●視界の広さ（俯瞰して見ようという気持ちがない。結果だけを見ている。）●家での過ごし方。●自分が受けてきた教育　　等

親子で育ち合う
アクションを決める

家庭の中でできること、家庭の環境に合わせて取り組める課題を決め実践する

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-2. ファミリービルディングの留意点

- 子どもの７つのパイプ

子どもの７つのパイプを豊かにしていくためにできることを
父母と決めて実行をしていく

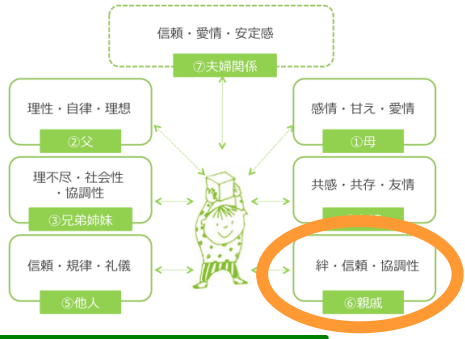
- 親の７つのパイプ

親の７つのパイプを知り、不足しているために苦手なことができるように
やり方やコミュニケーションの方法のサポートをする

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-3. 祖父母のパイプ



- パイプで獲得できるもの＝絆・信頼・協調性

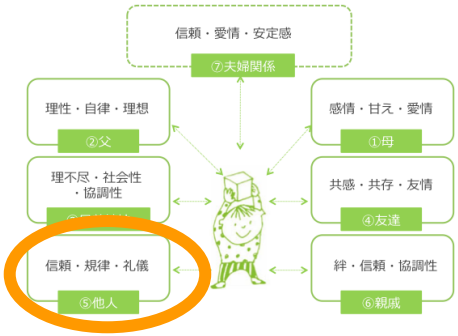
上手く機能した時　：親との間にストレスを感じた時の逃げ場の機能
上手く機能しない時：甘やかし過ぎ　短絡的な考えや意気地なし

大人ができる配慮
○夫婦と祖父母との関係性をよくする
・子どもの前で相手を悪く言わない
○対話をする。ダメなことは事前に「こうして欲しい」ということを伝える
・第三者の力を借りる
　例.「先生が○○と言っていたので協力してください」

※ＣＦＣは祖父母の信頼をもらえると強い
信頼をもらうポイント①孫をしっかり見ている②孫が好きな人
子どもを育てた経験者でもあるので、「今のこういうことが大人になってこう影響する」という理解は早い

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-4. 先生のパイプ



- パイプで獲得できるもの＝信頼・規律・礼儀

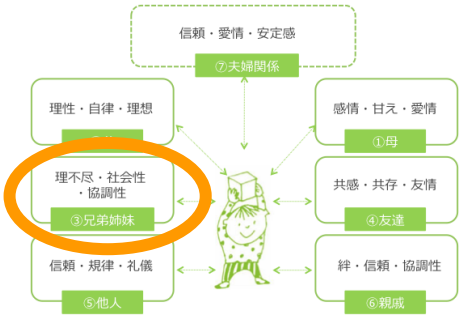
上手く機能した時　：社会とのつながりが良くなる　社会の第一歩
上手く機能しない時：反発的にものを見る　「社会が悪い」「親が悪い」

先生ができる配慮
○先生も人間。相性の良し悪しはある
・全員に目と気を配る
・コミュニケーションの時間や回数を意識する
・他の先生のサポートを借りる

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-5. きょうだいのパイプ



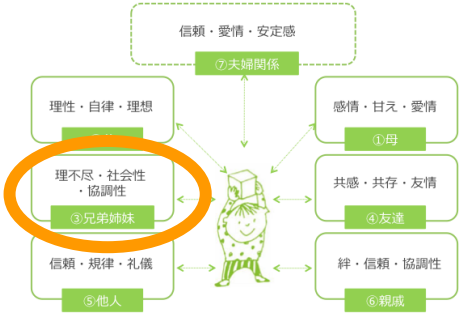
- パイプで獲得できるもの＝理不尽・社会性・協調性

注意したいこと「社会の偏見」

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-5. きょうだいのパイプ



①ひとりっこ

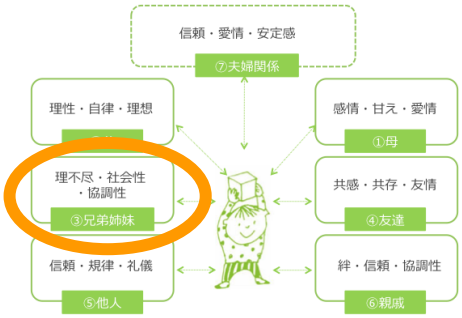
社会の偏見：わがまま、自分中心
実は・・・大勢の中で自分がどうふるまっていいか分からない。
大人の中にいることが多く、大人の言うことをよく聞くため大人が意見を押しつけていることもある。

大人ができる配慮
○万能感を持たせない
・「たくさん子どもがいると、お客様はわざわざ子どもへのお土産までくれないよ」
○しつけの中で大勢の中との違いを教える
・「みんなで食べる時は、早く取らないとなくなるんだよ」
○大人の意見を押しつけず自分で選ばせたり、分け方を考えさせたりする
・「このいちごを家族でどんな風に分けたらいい？」

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-5. きょうだいのパイプ



②真ん中っこ

社会の偏見：親の偏見・・手がかからない。なんでもするっとできる。
実は・・・声をかけ忘れられがちで、大きくなった時に「どうせ」などの言葉が出やすくなり斜に構えがち。

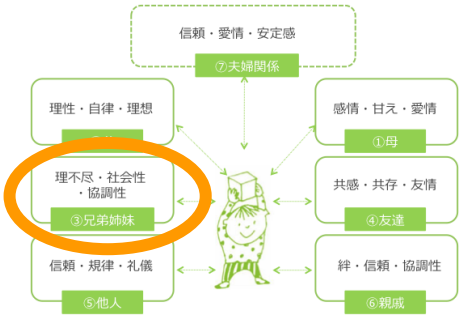
大人ができる配慮
○意識して声をかける
・親が自覚する
○保障されている時間をつくり安心感を与える
・「土曜の夜はまず○○ちゃんの話を一番に聞くね」

※上の子どもと同性の時は特に注意

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-5. きょうだいのパイプ



③末っ子

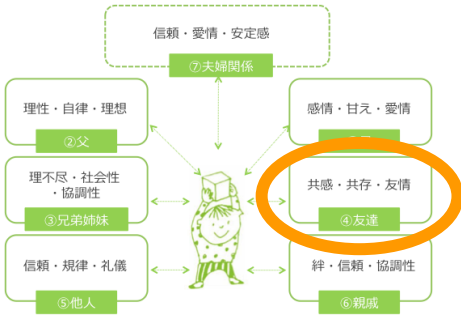
社会の偏見：甘えんぼ。要領がいい。弁が立つ。調子よくかわいがられる。
実は・・・生まれた時から社会にもまれる環境。パパママ以外に上の子どもの人格の影響を受ける。じっくり落ち着いて取り組むことができにくい。
無意識に自分を押さえる。

大人ができる配慮
○快動が見つけにくい。上の子の好きなものに影響される
・何か1個深められるものを探す
○上の子との関係性を見る
・上の子がボス化していたら関係性を整える
※上の子も良かれと思い世話をしているので「して欲しいこと」を伝える
○スキンシップを増やし、その子との時間を増やす
※無意識に自分を押さえつけるためチックなども出やすい

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-6. 友達のパイプ



- パイプで獲得できるもの＝共感・共存・友情

上手く機能した時　：幼児期の子どもにとっては無意識の不安の安定剤
上手く機能しない時：他のパイプでの不調が考えられる

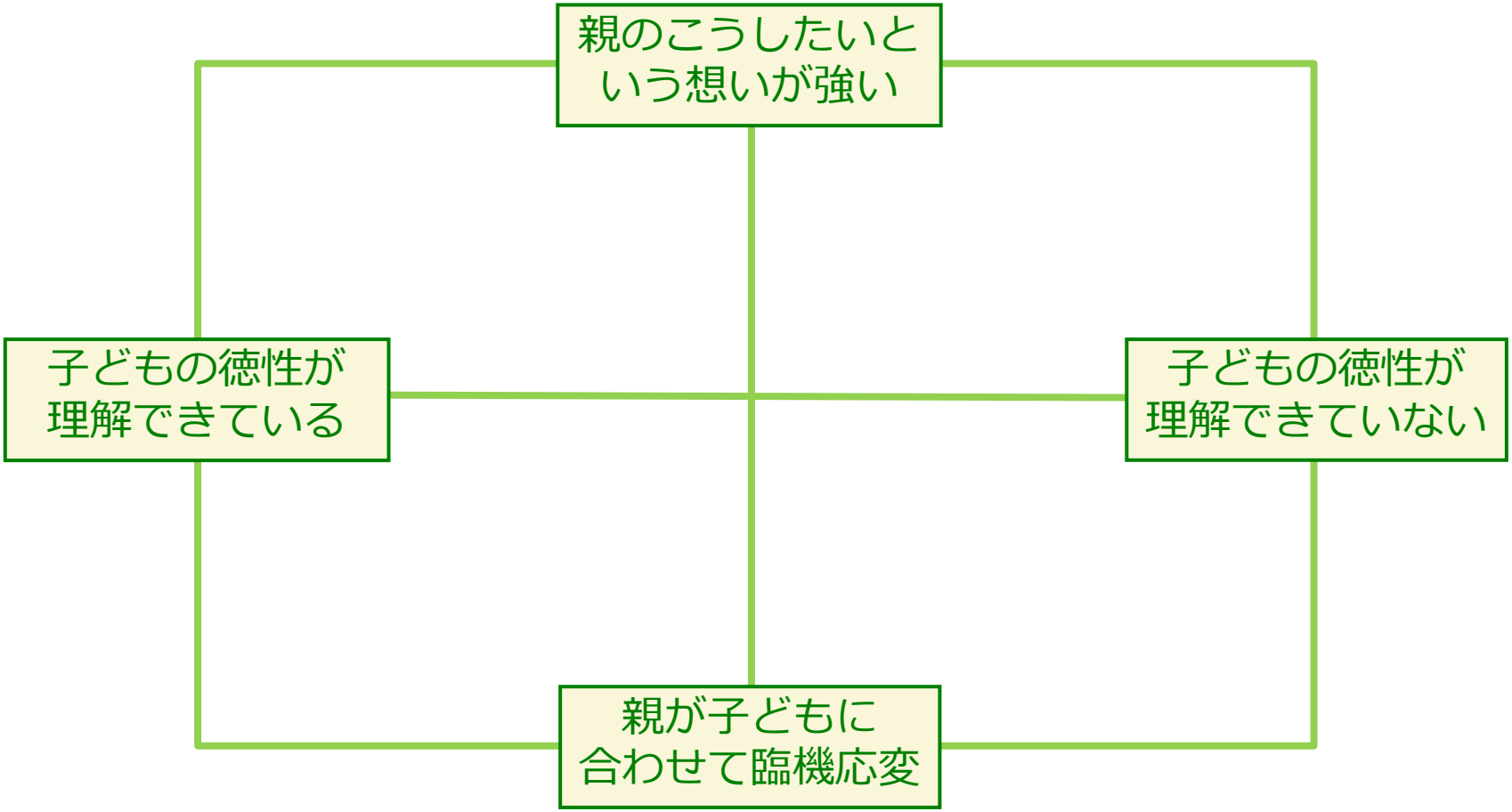
大人ができる配慮
○トラブルが起こる子
・他のパイプが少ないために、友達への固執が起こっていることがある
・他のパイプを太くする
○友達がつくれない子
・本当に嫌いな子はいない。1人ではできないこと、みんなですると楽しいことなどを伝え、成功経験を与える

無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-7. ケーススタディ

【親の教育観】



無断複製禁止　子育て学協会

3. 子育てのためのファミリービルディング③

3-7. ケーススタディ

【親の教育観】

○子どもの徳性に合わせ、色々な機会の提供がある
×親の希望＋子どもの徳性であれもこれも盛りだくさんになる

▸子どもの状態に合わせて取捨選択を考える
手放すものを決める手伝いをする

○自分では選ばないものとの出会いで、子どもには柔軟性がつく
（反面教師の学習はできる・・・こうしたくない）
×子どもにストレスかかる

▶大人のこうしたいと思うことを整理
▶子どもの徳性を見る
▶親子で育ち合う関係性を育む

○子どもの探究の支援ができる
×子ども主体に寄り過ぎると、時間的な展望や継続的な学びにならない
×子どもの知る範囲での機会しか得られないため可能性を縮める

▶課題設定を行い、アクションプランを実践
▶短期での成功体験を積む
▶子どもが気づくことのできない機会の提供をする

○子どもが意思を持ち自分で決めることができる
×子どもが万能感を持ちすぎると対人力が弱くなる

▶子どもの徳性を考える
▶大人の徳性を見る
▶大人が自分らしく得意なことで、子どもと共有できることをしながら、親子で育ち合う関係性を育む

無断複製禁止　子育て学協会

本日のアジェンダ

イントロダクション

1. 子どもとの対話①
2. 子どもとの対話②
3. 子育てのためのファミリービルディング③

まとめ・アンケート

4. 子育てのためのファミリービルディング④

まとめ・アンケート

認定試験

第4回後半

無断複製禁止　子育て学協会

＜振り返り＞本日のまとめ

本日のキーワード

1.　子どもとの対話①	子どもとの対話のポイントを理解し 意識できるようになる
2.　子どもとの対話②	子どもの力を引き出す対話を理解し 意識できるようになる
3.　子育てのための ファミリービルディング③	子どもの心の安定のために ＣＦＣができることを知る

無断複製禁止　子育て学協会

- 次回は　２／２１（水）です
- またお会いできるのを楽しみにしております

無断複製禁止　子育て学協会

アンケートのご記入をお願いします

CFCベーシックアンケート

＊提出方法＊
・スクショ写真
・PDF化したもの
→メールに添付

本日の課題をメールでご提出ください

●To：info@kosodategaku.jp

無断複製禁止　子育て学協会